

## 令和7年度（令和6年度実施） 高知県公立学校教員採用候補者選考審査に係る応募状況等について

### 応募の状況（受付期間：3/25～4/15）

※（ ）は前年度比

- ◆ 全校種の応募者総数は1,469名で、前年度1,941名に比べて472名の減少となった。  
【高知会場：899名（▲90）、関西会場：570名（▲382）】
- ◆ 小・中学校の応募者数は1,120名で、前年度1,523名に比べて403名の減少となった。  
〔 小学校教諭 577名（▲189）、中学校教諭 375名（▲141）、小・中学校養護教諭 124名（▲78）、  
小・中学校栄養教諭 44名（+5） 〕
- ◆ 県立学校の応募者数は349名で、前年度418名に比べて69名の減少となった。  
〔 高等学校教諭 286名（▲54）、特別支援学校教諭 47名（▲14）、  
県立学校養護教諭 16名（▲1）、特別支援学校栄養教諭 募集なし（昨年募集なし） 〕
- ◆ 「障害者特別選考」への応募者は3名（±0）である。
- ◆ 全校種をあわせた全体の倍率は5.9倍で、前年度に比べて1.7ポイント低くなっている。  
〔 小学校教諭 4.4倍（▲1.5）、中学校教諭 8.0倍（▲2.5）、小・中学校養護教諭 12.4倍（▲4.4）、  
小・中学校栄養教諭 14.7倍（+1.7）、高等学校教諭 7.0倍（▲2.2）、特別支援学校教諭 2.6倍（▲  
0.1）、県立学校養護教諭 16.0倍（▲1.0）、特別支援学校栄養教諭 募集なし（昨年募集なし） 〕

### 応募状況の分析と今後の取組について

- ◆ 関西会場において大きく減少しているが、中学校教諭の保健体育と小・中学校養護教諭（前年度計175名）について、例年一定の受審者を確保できていることから、関西会場での実施を取り止めており、それも要因の一つと考えられる。
- ◆ 全国的に教員の人材確保が課題となっている中で、本県においても受審者数が減少しているが、全体の倍率は5.9倍と、一定確保できている。
- ◆ 受審者の減少には危機感を持っており、引き続き、より受審しやすい審査制度への見直しや、働き方改革の推進、教員の魅力発信などに取り組んでいく。

### 第1次審査（6/1）実施について

#### 1 実施内容

- ・ 募集要項のとおり（専門教養60分、教職・一般教養60分）実施する。

#### 2 会場

- ・ 高知会場（高知小津高等学校、高知丸の内高等学校）
- ・ 関西会場（大和大学）

### 名簿登載までの予定

- 第1次審査結果通知 6月28日（金）（予定）
- 第2次審査 7月27日（土）・28日（日）  
面接（小学校教諭・特別支援学校小学部教諭・養護教諭・栄養教諭）  
8月16日（金） 実技審査  
8月17日（土）・18日（日）  
面接（中学校教諭・高等学校教諭・特別支援学校中高等部教諭）
- 採用候補者名簿登載発表 9月20日（金）（予定）